

### 第3章 評価の結果に対する対応方針

分科会の評価結果を受けて、国土技術政策総合研究所では以下のように対応する。

#### ■令和2年度 第4回 国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第二部会）

##### ・避難所における被災者の健康と安全確保のための設備等改修技術の開発（終了時評価）

評価結果を踏まえ、視線を遮ることによるプライバシーの保護等のパーティションの有効性や避難所に設置した設備類について日常生活でも活用できるような情報などを収集し、「避難所の健康確保等のための設備計画マニュアル原案」に盛り込んだ上で公表を行ってまいりたい。

また、新たな課題となっている新型コロナウイルス感染症の対応として、避難所において三密を避けるために必要なことに関する調査や検討、更には地方公共団体等へのヒアリング調査についても継続して取り組んでまいりたい。その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

##### ・建築物のエネルギー消費性能の向上を目指したファサード設計法に関する研究（終了時評価）

評価結果を踏まえ、本研究で得られたファサードによる定量的な空調・照明負荷等の削減や室内環境への影響を、建物規模の違いや既存建築物の改修にも配慮した省エネファサード設計ガイドラインとして整備し、設計実務者への普及を通じたフィードバックで実用的なガイドラインへと拡充するとともに、省エネ性能の評価法を、基準適合性判定ツール（Webプログラム）に早期に反映できるよう努めて参りたい。

また、今後、建物外観や内観にも影響するファサードデザインによって、省エネ効果と室内環境がどのようになるかを施主の視点でわかりやすく整理し、提供していく取り組みを進めて参りたい。

##### ・多様化する生活支援機能を踏まえた都市構造の分析・評価技術の開発（終了時評価）

評価結果を踏まえ、ポストコロナ社会とあわせて情報やモビリティ技術のさらなる発展による新たなサービスの展開も考慮して、どのように都市・地域構造が変わりうるのかを長期的な展望の視点も含めてさらに研究してまいりたい。

また、その際には、スマートウェルネスシティプロジェクト等、多様な分野の取り組みとの連携についても考慮して参りたい。

#### ・地震火災時の通行可能性診断技術の開発（終了時評価）

評価結果を踏まえ、緊急車両通行路となる幹線道路沿道建物の改善、消防等の活動の誘導等、地震時の対応の円滑化とともに、地震火災時の通行可能性を高めるための市街地改善等の検討に資するよう、本研究の成果である火災発生時の通行への影響評価手順等について、分かりやすい手引きをまとめて参りたい。

また、これまでの研究成果を踏まえつつ、避難、消防活動、救出・救護活動等の応急活動をより効果的に行うことが出来るようにするための市街地火災対策、火災以外の要因を含めた通行可能性への影響評価、あるいは将来的なリアルタイム支援について、今後の研究テーマとして検討を進めて参りたい。

### ■令和2年度 第5回 国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第一部会）

#### ・水防活動支援技術に関する研究（終了時評価）

評価結果を踏まえ、現在研究開発を行っている水防活動支援情報共有システムについて、引き続きモデル自治体等におけるニーズの把握をしっかりと実施し、地域によって多様な水防活動の実態を反映しつつ、多くの自治体に活用いただけるシステムとして参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

#### ・地震と洪水の複合災害リスクマップの作成・提供（終了時評価）

評価結果を踏まえ、関係部局のニーズの把握を引き続き実施するとともに、効率的なシステムの管理・運用・更新及び、発展的な活用方法の検討を進めて参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

#### ・高潮と豪雨による複合型浸水発生時の減災対策のための浸水予測システム開発（終了時評価）

評価結果を踏まえ、防潮水門等の開閉情報等を浸水予測計算にリアルタイムで反映するための関係機関との調整を引き続き進め、浸水予測精度の向上を図って参りたい。

また、予測精度の向上とともにリードタイムをより長く確保出来るよう、引き続き検討を進めて参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

#### ・危機管理型波浪うちあげ高観測技術の開発に関する研究（終了時評価）

評価結果を踏まえ、危機管理型水位計を用いたうちあげ高の観測手法の普及に向けて、その具体的な手順を検討して参りたい。また、高潮・高波時の避難や災害対応へのうちあげ高の観測データの具体的な活用方法について検討して参りたい。

特に、うちあげ高の観測データの活用方法については、高潮・高波に関する既存の防災情報との関係を整理した上で、うちあげ高が極めて高い状況において実施すべき対応に着目し、本省関係課とも調整しつつ、検討して参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

#### ・地下水位のリアルタイム観測手法に関する検討（終了時評価）

評価結果を踏まえ、地下水位のリアルタイム推定の実用化に向けた課題や、推定された地下水位の津波防災への具体的な活用方法について、検討して参りたい。

地下水位のリアルタイム推定の実用化に向けた課題として、特に、地形等に依存する地下水位の推定式のパラメータの推定方法について、検討して参りたい。また、推定された地下水位の津波防災への具体的な活用方法については、沈下量が地下水位だけではなく地震動にも大きく依存することに留意し、海岸堤防の被災リスクが高いと考えられる地下水位特性を示す箇所における事前の防災対応についても、行政機関とも意見交換をしながら、検討して参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

#### ・液状化等により被災した管路に関する情報収集および傾向分析（終了時評価）

評価結果を踏まえ、地震被害即時推定システムの利用を想定する団体と意見交換しながら、実装に向けた開発を行い、これらの団体が利用しやすい形での運用方法を検討する。また、地震被害データベースを基に、下水道管路の条件による被災率等を整理することで、地方公共団体が活用しやすい情報を提供する。

### ■令和2年度 第6回 国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第三部会）

#### ・地震災害時における空港舗装の迅速な点検・復旧方法に関する研究（終了時評価）

評価結果を踏まえ、本研究で作成したマニュアルが地震直後の空港管理者の点検・復旧活動に資するよう、研修等により普及に努めるとともに、空港管理者からのフィードバックを通じたマニュアルの改善等を行って参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても、空港管理者にわかりやすいマニュアルとなるよう心掛けるとともに、被災時の判定において参考となりうる事前データ収集の方策についても検討して参りたい。